

十勝岳

1 概況（平成 14 年 7 月）

地震の増加や火山性微動はなく静穏に経過しました。1997 年以降時々微動が発生し、62-2 火口は高温で活発な噴煙活動が続くなど火山活動は高いレベルを維持しています。

2 噴煙活動の状況

62-2 火口では活発な噴煙活動が続いており、噴煙高度は概ね火口上 100～300m で推移しました。風が弱い時には一時的に 1000m の高さに達することもありました。

3 地震活動の状況

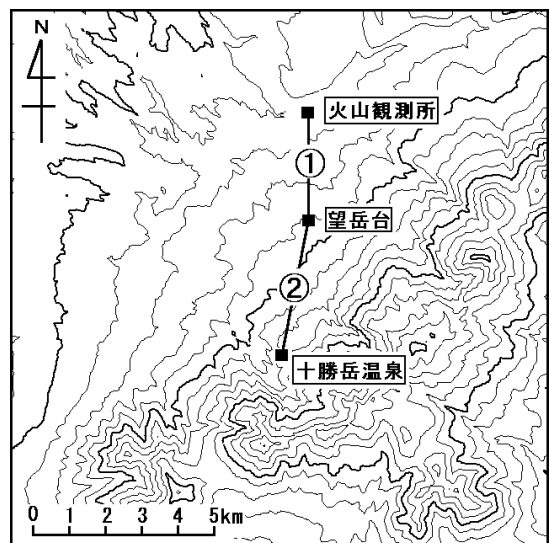
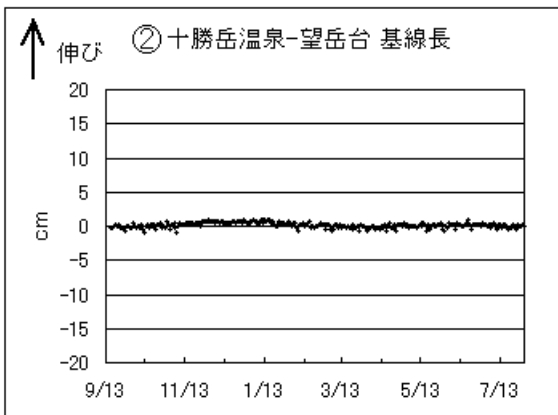
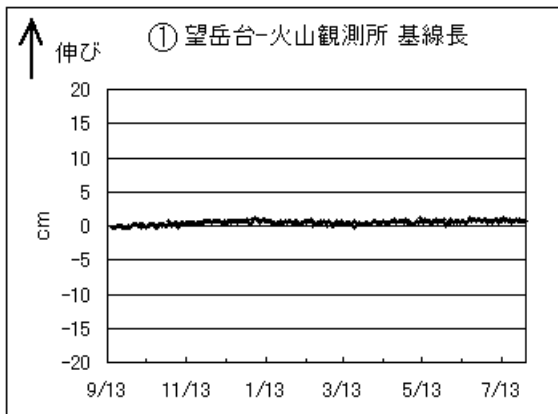
地震回数は 1 日あたり 0～4 回と平常のレベルで推移しました。火山性微動は観測されませんでした。

月別地震・微動回数（H 点）

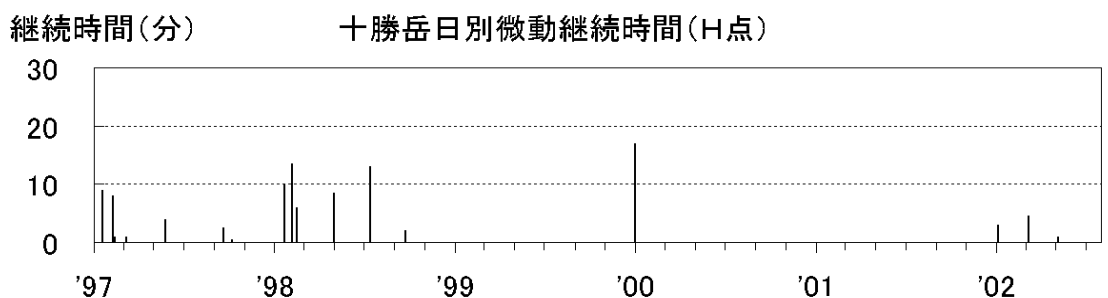
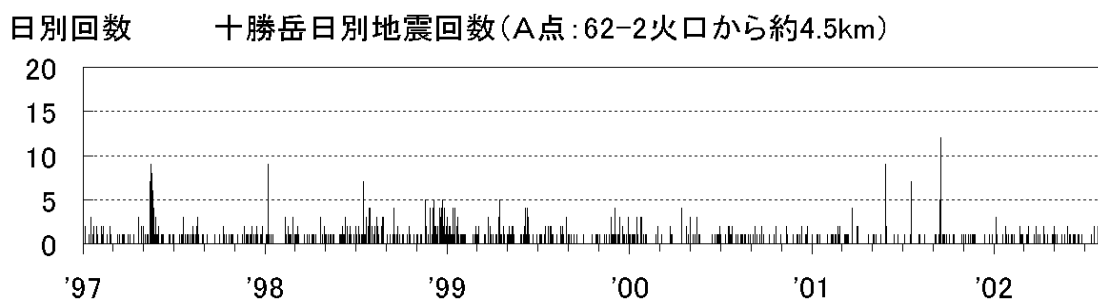
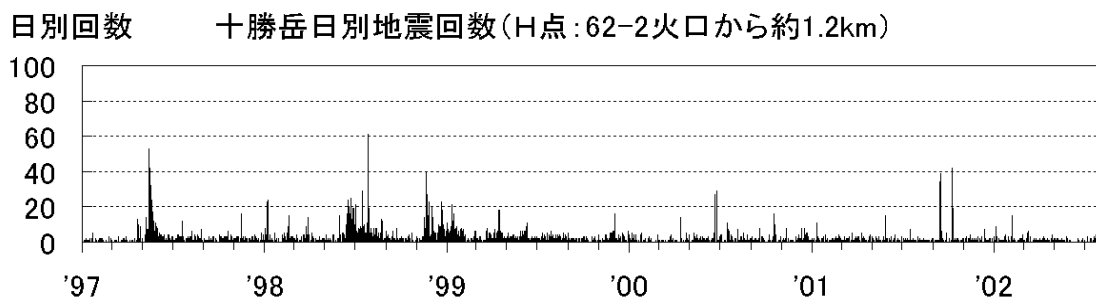
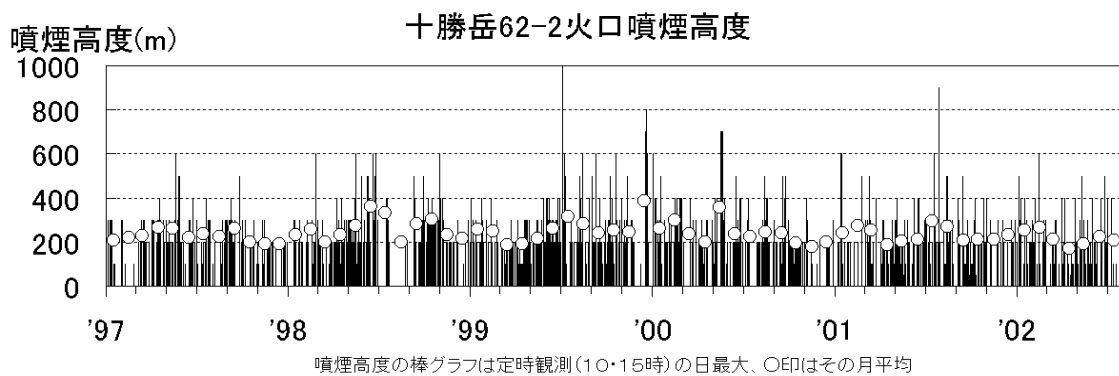
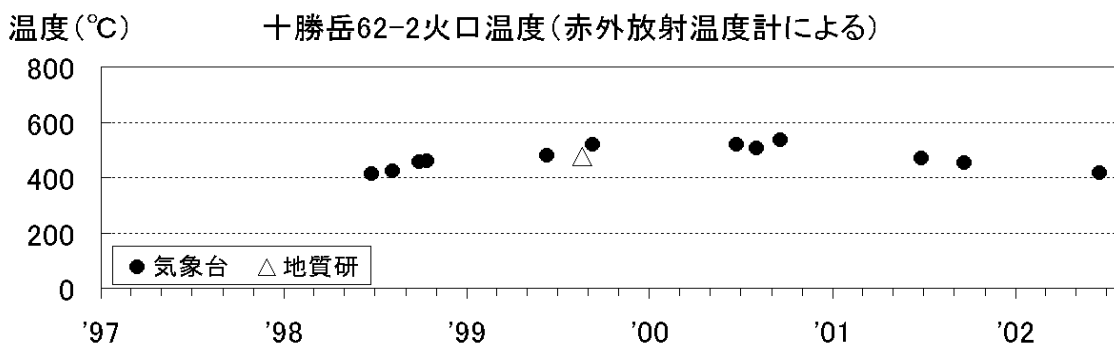
平成 13～14 年	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
地震回数	24	102	83	35	30	43	42	34	30	28	14	28
微動回数	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0

4 地殻変動の状況

G P S 観測では、火山活動に起因すると考えられる特別な変化はありませんでした。



十勝岳基線長グラフ（2001 年 9 月 13 日～2002 年 7 月 31 日）



十勝岳火山活動経過図(1997年1月1日~2002年7月31日)